

令和 2 年 度
事 業 報 告

公益社団法人 横浜歴史資産調査会

令和2年度事業の概要

「歴史を生かしたまちづくり」に大切な歴史的資産を都市計画の視点から戦略的に調査・保全・活用を開始してから32年を経過した。

令和2年度も歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を生かした魅力溢れるまちづくりに向けて歴史的資産の調査研究をはじめ、保全・活用を目指した保護事業も積極的に実施した。

さらに「歴史を生かしたまちづくり」を推進するために、広く市民や専門家を対象にセミナーや講演、シンポジウム等を開催した。

併せて、「歴史を生かしたまちづくり」を円滑に行うための普及啓発、人材育成事業を行った。

令和2年度において実施した具体的な事業は次のとおりである。

注) 氏名については敬称略。

所属・役職等については、事業実施時点のもの。

1. 歴史を生かしたまちづくり推進事業（公益目的事業）

（1）歴史的建造物保全・活用計画関連調査等

（ア）歴史的建造物保全・活用関連調査

歴史的建造物や近代化遺産等の歴史的資産を保全・活用するため調査を実施した。調査は現地での歴史的資産の現状把握及び所有者へのヒアリング、文献調査、所見作成等である。調査結果は、当公益団体の公益目的事業である「歴史を生かしたまちづくり推進事業」に活用するとともに、横浜市認定並びに登録歴史的建造物等への具体的な保全・活用をするために役立てることとした。

<自主調査>

① 旧湘南電鉄（京浜急行）瀬戸変電所の構造調査等及び同変電所保存活用委員会の設置等（金沢区）

a. 保存活用委員会の設置等

旧湘南電鉄瀬戸変電所の保存活用を推進することを目的に令和元年度に保存活用委員会を設置し、令和2年度は、新たに委員を追加した。委員会は未開催であったが、京急電鉄、横浜市都市デザイン室等との調整会議や、後藤治委員長から助言を元にワーキング会議を適宜行った

保存活用委員会構成メンバー

委員長 後藤 治（工学院大学理事長）

委員 西澤 英和（関西大学教授）

田村 雅紀（工学院大学教授）

小野田 滋（公益財団法人鉄道総合研究所情報管理部担当部長）

山本 博士（公益社団法人神奈川台場地域活性化推進協議会理事長）

大野 道夫（京急電鉄（株）鉄道本部工務部施設担当課長）

梶山 祐実（横浜市都市デザイン室長）

吉田 鋼市（当公益団体副会長・横浜国立大学名誉教授）

オブザーバー

原 幸一（京急電鉄（株）鉄道本部工務部課長補佐）

三浦 拓也（同 主任）

事務局

米山 淳一（当公益団体常務理事）

菅井 稔（当公益団体 旧瀬戸変電所保存活用プロジェクト主任研究員）

亀井 泰治（当公益団体研究員）※横須賀市職員による協力

b. 調査等

当公益団体が将来、京浜急行電鉄より寄贈を受け保存・活用計画を実施するに当たり、平成29年度は建屋のコンクリート等の耐震診断調査及び現況把握調査を、平成30年度は地盤並びに建物の振動性等の調査を実施し、令和元年度は保存活用に向けた調査及び所見作

成及びレーザーを用い建屋の鉄骨や鉄筋調査を行い、建屋は、鉄筋や鉄骨を併用した強固な構造で建設されていることが判明した。

令和2年度は、建物の具体的な構造補強や屋根、窓周りを中心とした外板の修理計画と、これに関する経費算出のための専門家による調査等を行った。

調査日：1回目 令和2年7月16日(木)

2回目 令和3年2月24日(水)

調査者：株式会社長坂設計工舎 長坂健太郎、上村一貴

調査指導：後藤 治(保存活用委員会委員長・工学院大学理事長)他

② 旧倉石忠雄家住宅現況把握調査等（長野県千曲市）

長野県北信地区の生糸や絹織物集散地として横浜と歴史文化的関係の深い千曲市稲荷山地区（国重要伝統的建造物群保存地区）にある旧倉石忠雄家住宅（元衆議院議員・労働大臣、農水大臣を歴任）の国重要文化財指定に向けての現況把握調査を平成30年度から継続で千曲市歴史文化財センターの調査費で実施しており、令和2年度は、倉石家の土蔵内の文献調査等を、所有者の倉石久寿氏とともに行った。併せて、千曲市文化財センター矢島宏雄氏と現地調査を行った。

調査日：令和2年11月9日(月)

調査者：後藤 治(工学院大学理事長)、吉澤正己(建築史家)

矢島宏雄(千曲市歴史文化財センター所長)他

担当：米山淳一(当公益社団常務理事)、河合桃子(当公益社団事業課)

③ 旧モーガン邸再建にむけた調整等（藤沢市大鋸）

不審火で焼失した旧モーガン邸の再建を目指し、平成29年度に当公益社団で実施した復元再生計画調査の結果を踏まえ、再生に向けた調整会議を「NPO法人旧モーガン邸を守る会」と行った。

また、所有者である藤沢市にこれまでの取り組みを随時報告するとともに、一方の所有者である公益財団法人日本ナショナルトラスト(JNT)とは所有地と火災保険金の一部の移譲に関する調整を行った。特にJNTとは、同財団が所有する土地等について、当公益社団への譲渡に関する調整を令和元年度からの継続で行った。

なお、同財団との調整等は、当公益社団の顧問法律事務所所属の弁護士・司法書士の指導で行った。

指導者：松本武之弁護士、尾谷恒治弁護士、谷口貴則司法書士
(共に早稲田リーガルコモンズ法律事務所)

④ 細野燕台家茶室の現況調査（鎌倉市）

篆刻や古陶磁等を通じて北大路魯山人親交の深かった細野燕台氏は、魯山人の招きもあり、大正期に石川県の金沢から北鎌倉の明月院の門前に居を移した。細野氏はこれを機に北鎌倉で茶の湯文化を広め、政財界人や文化人がこぞって茶室を起こしている。その拠点

になったのが細野家に現存する2棟の茶室である。

当公益社は鎌倉市と協働で、この2棟の茶室の将来の保存に向けて所有者の意向調査を行い、明月院や周辺の歴史的風致と一体となった茶室を、景観重要建築物として位置づけ、保存を推進することになった。

調査日：令和3年3月24日(水)

調査者：奥山信治（鎌倉市都市景観課長）、平井早帆（鎌倉市都市景観課）、吉田鋼市（当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授）

担当：米山淳一（当公益社団常務理事）、河合桃子（当公益社団事業課）

<受託調査> 歴史的建造物の保全計画案等の検討 [横浜市受託事業]

① 歴史的建造物の概況調査等

「歴史を生かしたまちづくり」において保全等が必要なものについて、専門家による現地調査、活用や修理等の助言・相談を得た。

a. フェリス女学館6号館別館(中区)

庇の新規設置にあたっての仕様や技術的助言

調査者：関和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

b. 岩田健夫邸(中区)

・認定当初、助成工事当時の状況についてのヒアリング

調査者：関和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

小沢朗(元・横浜市職員)

菅孝能((株)山手総合計画研究所会長)

・小屋裏及び床下調査

調査者：遠藤靖仁((株)トージ建築)

・移築保全に関する技術的助言

調査者：水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

c. 新港9街区(中区)

国の合同調査開発時に発掘された埋蔵文化財の残し方・活かし方の意見聴取

調査者：青木祐介(横浜都市発展記念館副館長)

d. 旧円通寺客殿(金沢区)

復元工事に関する技術的助言(基礎形状の変更、部材保全方法、復元工程等)、部材状況の確認、基礎石の状況確認、建方の現地確認及び技術的助言、茅葺作業前の現地確認及び技術的助言

調査者：大野敏(当公益社団理事・横浜国立大学大学院教授)

e. 赤レンガ倉庫(中区)

投光機器交換に係る技術的助言

調査者：久保隆文((株)マントル)

f. 山手133番館(中区)

ブラフ積みの保全活用について意見聴取

調査者：真田純子(東京工業大学准教授)

g. 旧市原重治郎邸(神奈川区)

門扉交換の現地確認及び技術的助言

調査者：内田青蔵(当公益社団社員・神奈川大学教授)

h. 東横線跡地(中区)

高架橋の設計者に関する調査及び高架橋の一部を保存活用することに関する技術的助言

調査者：小野田滋(公益財団法人鉄道総合技術研究所情報管理担当部長)

② 登録又は認定歴史的建造物の候補である建造物等の調査

a. 旧斎藤英輔家(鶴見区、古民家)

現地調査及び所見作成

調査者：大野敏(当公益社団理事・横浜国立大学大学院教授)

b. 長者橋(中区、土木産業遺構)

所見作成

調査者：中藤誠二(当公益社団社員・関東学院大学教授)

c. 山手 133 番館(中区、西洋館)

現地調査及び所見作成

調査者：関和明(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

d. 野毛の吊り橋(西区、土木産業遺構)

所見作成

調査者：青木祐介(横浜都市発展記念館副館長)

e. 横浜銀行協会(中区、近代建築)

所見作成

調査者：吉田鋼市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)

③ 認定歴史的建造物に関する保全活用計画案の策定又は変更案の作成

・山手 133 番館(中区、西洋館)

保全活用計画案の作成

調査者：関和明(当公社団理事・関東学院大学名誉教授)

④ 歴史的建造物に関する制度等の検討

歴史的建造物の保存活用に向けて、新たな制度や仕組みを作っていくにあたり、横浜市文化財保存活用地域計画作成と、歴史的建造物台帳登録調査に関してのヒアリングを、専門家及び学識経験者に行った。

<受託調査> 歴史的建造物台帳登録調査[横浜市受託事業]

「歴史を生かしたまちづくり」を推進するにあたり、昭和 62 年から市内の歴史的建造物等の現況を把握するために台帳登録調査を実施し、その後見直し調査等を行ってきたが、令和 2 年度では、既存の台帳に掲載されている全 18 区の建造物を GIS データ及び航空写真を用いて存否確認を行い、特に中区・西区・磯子区・金沢区については、現地に赴いて行った。併せて、GIS データを活用した新規物件の抽出手法の検討として、戦前の建造物を中心に、磯子区と金沢区の一部地区でケーススタディを行った。

また、戦後建造物についても、情報整理を行うとともに、抽出手法の検討を行った。

(イ)歴史を生かしたまちづくり相談室の実施

歴史を生かしたまちづくり推進事業を円滑に進めるために、より広く市民等から関連の情報を集める相談室を開設している。

令和2年度は新規相談1件、前年度からの継続1件であった。

① 斎藤家住宅の保存活用（埼玉県深谷市）※令和2年度新規

利根川舟運の拠点として繁栄した中ノ瀬地区の名主として活躍した斎藤安雄氏の館内の別邸の保存活用に関してシーラ・クリフさん（十文字学園大学教授）と藤井美登利さん（川越着物の会・シルクロード・ネットワーク協議会会員）から相談があり、現在のご当主福田氏（十文字学園大学教授）を訪ね、併せて別邸の現況を調査した。

別邸は、明治期の豪壮な木造2階建。内部は、当時の状態が良く保たれていた。1階は住居。2階は、賓客用のお部屋が3間あり、いずれも品格溢れる数寄屋造り。営繕を担当している大工さんによると京都から職人を招いた造作されたとのこと。この現存する別邸と敷地500坪を寄贈したいとの申し出だったが、急遽、所有者の気持ちが変わり売却となり、残念ながら保存には至らなかった。

訪問日：令和3年3月18日(木)

訪問者：中村 武(NPO法人RAC副理事長)、シーラ・クリフ(十文字学園大学教授)、藤井美登利(川越着物の会)

担当：米山淳一(当公益社団常務理事)

② 西教寺（南区）※令和元年度からの継続

昭和7年建造の鉄筋コンクリート造りである西教寺本堂は、住職や専属の設計業者から横浜市認定歴史的建造物または横浜市指定有形文化財への希望があり、当公益社団では令和元年度に建物の現況調査や所有者へのヒアリング調査を行ったところであるが、令和2年度は、同調査に基づいて所見を作成した。

所見作成：大野敏（当公益社団理事・横浜国立大学大学院教授）

堀勇良（当公益社団理事・建築史家）

(ウ)俣野別邸庭園内歴史的建造物の助言・指導業務

【公益財団法人横浜市緑の協会受託事業】

平成29年4月から公開された「俣野別邸」（横浜市戸塚区）の管理運営に関しての助言や同邸園の職員研修セミナーをはじめ、同協会が管理する山手西洋館等の職員研修セミナー、市民向け歴史講座等を行った。

① 職員向け研修セミナー、市民向け歴史講座

a. 令和2年10月15日(木) 14:00～15:00

俣野別邸職員研修セミナー

講師：米山淳一（当公益社団 常務理事）

演題：「開港都市の文化遺産（1）函館、神戸、長崎」

b. 令和2年11月5日(木) 14:00～15:00

山手西洋館等職員研修セミナー

講師：水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）
演題：「日本における西洋館の導入と西洋館のみかた」

c. 令和2年11月12日(木) 14:00～15:00

山手西洋館等職員研修セミナー

講師：安川千秋

（写真家、日本写真協会会員、日本建築写真家協会会員）

演題：「みなと横浜のうつろい～その歴史的景観の魅力～」

d. 令和2年11月19日(木) 14:00～15:00

俣野別邸職員研修セミナー

講師：米山淳一(当公益社団常務理事)

演題：「開港都市の文化遺産 (2)新潟、横浜」

e. 令和2年11月21日(日) 11:00-12:00

市民向け歴史講座（会場：馬場花木園）

講師：熊谷秋雄(有限会社熊谷産業代表取締役)

演題：「茅葺屋根から自然環境を考える」

f. 令和2年12月7日(月) 14:00～15:00

野島公園旧伊藤博文金沢別邸職員研修セミナー

講師：水沼淑子（当公益社団理事・関東学院大学名誉教授）

演題：「近代における金沢八景界隈の別荘事情」

g. 令和2年12月17日(木) 14:00～15:00

俣野別邸庭園職員研修セミナー

講師：菅 孝能（(株)山手総合計画研究所会長）

演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築 第1部(葉山・逗子・鎌倉)」

h. 令和3年2月18日(木) 14:00～15:00

俣野別邸庭園職員研修セミナー

講師：菅 孝能（(株)山手総合計画研究所会長）

演題：「地域の文化遺産 湘南の別荘建築 第2部(大磯、小田原、箱根)」

i. 令和3年3月13日(土) 14:00～15:00

市民向け歴史講座（会場：俣野別邸庭園）

講師：安川千秋

（写真家、日本写真協会会員、日本建築写真家協会会員）

演題：「みなと横浜のうつろい～その歴史的景観の魅力～」

② コンサートの企画協力・運営支援（会場：俣野別邸庭園）

コンサートは、令和2年11月に俣野別邸の主催で実施する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため中止となった。

(2) 保護事業 <自主事業>

① 野毛都橋商店街ビル(横浜市中区)

平成 29 年 9 月に公益財団法人横浜市建築助成公社より寄贈を受けた「野毛都橋商店街ビル」の保全・活用を積極的に行った。日常管理を行っている横浜野毛商業協同組合と、管理等に関し情報交換を行うほか、特に映画・テレビドラマ等でのロケ撮影に協力するなど、広く一般に歴史文化的価値をアピールした。

また、超広角レンズを使用したカメラにより建物全体を撮影し、その写真を使って、都橋商店街ビルの絵葉書を作成した。

- a. ロケ撮影を行った番組等(4 本)
 - ・ d TV ドラマ(※映画のスピオフ作品、ネット配信ドラマ)
「Re:名もなき世界のエンドロール」
 - ・ NHK BS4K/BS プレミアム (※映像ドキュメンタリー)
「一瞬の、永遠の、にっぽん／横浜マジックアワー」
 - ・ NHK BS1 (※報道ドキュメンタリー)
「コロナ時代の人情酒場～横浜・野毛の 1 か月」
 - ・ ミュージックビデオ(※ネット配信)
シンガー名： A S C A
曲名：「カルペディエム」
- b. 野毛都橋商店街ビルの絵葉書
仕様：5 枚(カラー)＋解説付き
作製部数：1,000 セット
写真撮影：田中光一(当公益社団事業課)
解説原稿：米山淳一(当公益社団常務理事)

② 「建築家 J・H モーガンの自邸」(藤沢市)の再建・保存・活用

令和元年度より標記の事業を推進してきたが、令和 2 年度において、公益財団法人日本ナショナルトラストが所有する土地(焼けた主屋、温室、車庫、ポンプ小屋を含む)が譲渡され、併せて火災保険金の一部が贈与金として譲渡された。土地は令和 3 年 3 月 23 日付で所有権が移転し、直ちに登記を行い、同 3 月 31 日付で登記が完了した。また、贈与金は令和 3 年 3 月 31 日付けで入金となった。

これを受けて、NPO 法人旧モーガン邸を守る会、藤沢市と力を合わせて再建に向けて、さらに事業を推進して行くことになった。

(3) 普及啓発、人材育成事業

セミナー・シンポジウム等の開催及び刊行物の作成

歴史を生かしたまちづくりを推進するためには、市民、専門家、企業等の理解や参加が大切である。歴史的資産の保全・活用のための普及啓発を目的としたセミナー等の開催及び刊行物の作成を、以下のとおり行った。

<自主事業>

① シルクロード・ネットワーク・神戸市 2020

令和2年6月22日(土)～23日(日)の2日間、神戸市において開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年度に開催すべく延期した。

② 日本鉄道保存協会総会 2020 栗原市大会開催支援

令和2年10月8日(木)～9日(金)の2日間、宮城県栗原市において開催する計画であったが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和3年度に開催すべく延期した。

③ 「コンサート in ヘリテージ～ピアノが案内する横浜の歴史とまち Vol. 9～」 (第15回横浜山手芸術祭参加企画)

令和3年1月から2月にかけて第15回横浜山手芸術祭の開催が計画されたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、同祭の開催が中止となった。

④ 「ヨコハマヘリテージ・セミナー2020～旧モーガン邸の新たな船出～」

日 時：令和2年11月28日(日) 午後1時30分～16時15分

場 所：藤沢市 商工会議所

共 催：NPO法人旧モーガン邸を守る会

後 援：藤沢市教育委員会

協 力：横浜市都市整備局

プログラム：

主旨説明

「再建に向けた事業の経緯と展開」

米山淳一(当公益社団常務理事)

報告

「旧モーガン邸再建計画調査報告」

水沼淑子(当公益社団理事・関東学院大学名誉教授)

「旧モーガン邸を守る会のこれまでとこれから」

徳重淳子(NPO法人旧モーガン邸を守る会 会長)

シンポジウム

「旧モーガン邸再建に向けて皆でエールを送ろう」

コーディネーター：

菅孝能(株式会社山手総合計画研究所会長)

パネリスト

渡辺剛治(NPO法人小田原まちづくり応援団)

鈴木美都子(NPO法人ひらつか八幡山の洋館を活かす会)

栗林恵美(公益財団法人横浜市緑の協会 俣野別邸庭園園長)

廣田邦夫(湘南藤沢文化ネットワーク会長)

総括

後藤治(工学院大学理事長)

参加者数：55名

⑤ 鉄道開業150周年記念委員会の設置等

新橋・横浜間に鉄道が開業して2022年で150年を迎えるにあたり、鉄道を生活文化の視点から記念事業を行うため、当公益社団と日本鉄道保存協会との協働で委員会を設置するとともに、第1回目の委員

会を開催した。

開催日 令和2年12月24日(木) 13:00～15:00
(横浜メディア・ビジネスセンター13階ホール)

委員会メンバー

菅建彦(公益財団法人交通協力会顧問)
岡田直(横浜都市発展記念館主任調査研究員)
北村圭一(元・横浜市港湾部技術担当部長)
斎藤大起(神奈川新聞文化部記者)
二階堂行宣(法政大学准教授)

オブザーバー

北河大次郎(文化庁文化資源活用課文化財調査官)

事務局

米山淳一(当公益社団常務理事)
河合桃子(当公益社団事業課)
田中光一(当公益社団事業課)

<受託事業>

歴史的建造物の保全活用に関する広報普及業務 [横浜市受託]

歴史的資産の保全・活用に関して市民、専門家、企業等からの理解や協力、支援を目指して、「歴史を生かしたまちづくりセミナー」の開催、「歴史を生かしたまちづくり横濱新聞」の編集・印刷、歴史を生かしたまちづくり広報紙の改訂検討を行った。

①「歴史を生かしたまちづくりセミナー Vol. 4 3 旧横浜市庁舎の歴史・文化的価値を探る！」

日時：令和2年12月5日(土) 午後2時～午後4時30分
場所：横浜市役所1階 市民協働推進センタースペースA・B
プログラム：

講演1「旧横浜市庁舎の設計者・村野藤吾が求めたもの」
松隈 洋(京都工芸繊維大学教授)

講演2「旧横浜市庁舎の建築概要」
吉田鋼市(当公益社団副会長・横浜国立大学名誉教授)
話題提供「公共建築の姿を具現化した横浜市庁舎へのレクイエム」

内田青蔵(当公益社団社員・神奈川大学教授)

トークセッション

松隈 洋、吉田鋼市、内田青蔵(コーディネーター)

司会 米山淳一(当公益社団常務理事)

主催 公益社団法人横浜歴史資産調査会、横浜市、公益社団法人日本建築家協会関東甲信越支部神奈川地域会(JIA 神奈川)

参加者数：32名(会場)＋約80名(WEB視聴者)

②「歴史を生かしたまちづくり 横濱新聞」第36号の編集・印刷

印刷部数は3,500部。市民、横浜市関係機関(市民情報センター、各区広報相談部署、各図書館、山手西洋館等)、当公益社団会員等への配布を行った。

発行日：令和2年12月25日

③ 歴史を生かしたまちづくり広報紙の改訂検討

『都市の記憶 横浜の主要歴史的建造物』（改訂第6版、平成26年4月発行）の改訂に向けて、修正が必要な箇所の洗い出し、掲載内容に関する専門家へのヒアリング等を行った。

2. 会員事業

当公益団体の事業の益々の発展を目的に、広く継続的な支援を得るために賛助会員、団体会員、ヨコハマヘリテージ・サポートクラブ個人会員の募集を行った。

また、個人会員、賛助会員、団体会員等を対象とした会報誌「ヨコハマヘリテイジスタイル」を年に4回（季刊）発行するとともに、ホームページを通じて活動を広く発信した。

①ヨコハマヘリテイジスタイル 2020年夏号（令和2年7月31日発行）

1 ページ：「ごあいさつ」 宮村忠(当公益団体 会長)

2～3 ページ：「公益団体法人横浜歴史資産調査会 今年の仕事」

米山淳一(当公益団体 常務理事)

4 ページ：ヨコハマヘリテイジの活動報告

②ヨコハマヘリテイジスタイル 2020年秋号（令和2年11月10日発行）

1 ページ：「旧モーガン邸の再建に踏み出す」

宮村忠(当公益団体会長)

2 ページ：「Jay. H. モーガンとその自邸について」

水沼淑子(当公益団体理事・関東学院大学名誉教授)

3 ページ：「旧モーガン邸を守る会の結成とこれまでの活動」

佐藤里紗（旧モーガン邸を守る会）

4 ページ：行事等開催告知など

③ヨコハマヘリテイジスタイル 2020年早春号（令和2年2月1日発行）

1 ページ：「開設7年目を迎える 歴史を生かしたまちづくり相談室」

宮村忠(当公益団体会長)

2～3 ページ：「歴史的建造物・山手133番館について」

関和明(当公益団体理事・関東学院大学名誉教授)

3 ページ：「(株)三陽物産が社会貢献事業として山手133番館を

取得」 株式会社三陽物産 代表取締役 山本博士

聞き手：米山淳一(当公益団体常務理事)

4 ページ：ヨコハマヘリテイジの活動報告、ネットワーク事業の近況

④ヨコハマヘリテイジスタイル 2020春号（令和3年3月31日発行）

1 ページ：「旧湘南電鉄瀬戸変電所保存・活用事業のその後」

宮村忠（当公益団体 会長）

2～3 ページ：「発電所美術館のダイナミズム(富山県入善町)」

「活用を待つレンガの変電所 旧大阪電気鉄道富雄発電

所」 米山淳一(当公益団体常務理事)

- 4 ページ：・ヨコハマヘリテイジの活動報告、
・「新橋-横浜 鉄道開業 150 周年に向けて」第 1 回
横浜開港資料館・横浜都市発展記念館副館長 青木祐介

3. 周年特別事業

横浜歴史資産調査会設置 30 周年・法人化 10 周年記念式典・交流会の開催

令和元年度に開催を予定していた標記行事については、新型コロナウイルス感染症拡大のため、令和 2 年度に開催を延期し、令和 3 年 3 月 19 日（金）にホテルニューグランドにて開催を計画したが、令和 3 年 1 月 7 日に発令された緊急事態宣言等を踏まえ、令和 3 年度に開催すべく再度延期した。

4. 書籍販売事業（収益事業）

令和 2 年度においては、当公益社団での直売及び委託販売先 12 か所において、以下の刊行物を販売した。

- ・「都市の記憶—横浜の主要歴史的建造物（第 6 版）」
販売冊数：86 冊
- ・「ヨコハマヘリテイジ・ブックレット 2～ 港・鉄道・横浜」
販売冊数：21 冊
- ・「都市の記憶—横浜の土木遺産」（昭和 63 年発行・平成元年第 2 刷）
販売冊数：4 冊

以 上